

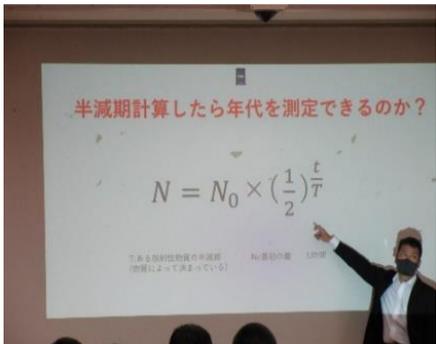
# 沖縄県立向陽高等学校 SSH(スーパーサイエンスハイスクール) SSH 科目について

沖縄県立向陽高校 SSH では、「課題探究活動を通して、主体的に課題に取り組み、協働して解決しようとする科学的思考・姿勢を育成する」ため理数科に以下の科目を設置しました。

※科目名をクリックすると、研究報告書のページに移動します。

## ◎ 「SS リテラシー」

課題研究の基礎知識(科学的な視点、理数分野の基本知識、統計的データの処理)などを学ぶほか、本校地理歴史公民科が長年実施してきた「地歴巡検」で学ぶ「港川フィッシャー遺跡」など考古学分野を共通テーマに数学、物理、化学、地学、生物各分野で(放射線同位体による年代測定、地層の形成と化石など)教科横断的な学習を展開する。その他「沖縄島南部海岸実習」(フィールド学習)や専門家による向陽 SSH 特別授業なども実施することで2年「SS 課題研究 I」の研究テーマを考える学習を実施する。



数学分野の授業



沖縄島南部野外実習(1年)



向陽SSH特別授業(物理)

## ◎ 「SS 課題探究 I」

生徒は1~4人程度のグループで(理科・数学・情報)分野の研究に1年間にわたって取り組みます。大学や教育センターに所属する専門家に年3回(テーマ検討会・中間発表会・向陽 SSH 生徒研究発表会)の指導を仰ぎ、ポスターやパワーポイントを用いて研究成果の発表を行います。



オンライン授業



テーマ検討会



向陽SSH生徒研究発表会

## ◎ 「SS 課題探究 II」

2年で行った研究内容を論文にまとめ、優れた論文は、科学作品展等に出展します。



中国・四国・九州地区理数科生徒課題研究発表会



全国SSH生徒研究発表会での研究報告

## ◎ 「SS 情報」

プレゼンテーションやポスター発表に必要なスキルを学び、エクセルやパワーポイントの演習を実施。



SSH運営指導員の助言



授業の様子



授業の様子

## ◎ 「SS 科学表現」

課題研究のアブストラクト作成を行い、科学表現に必要な英語力の習得を目指します。



英語プレゼンの作成



個別指導の様子



英語による研究発表